

麻しん（はしか）



・世界中で年間16万4000人以上の麻しんによる死者がいると推計され、主にアフリカ、東アジア、南アジアの国々から報告されています（WHOによる2008年時点の推計）。

○発生地域：

2011年は排除宣言が出されている米国、カナダに加えて、患者数が減少していたヨーロッパ諸国やニュージーランドでも患者報告数が増加している。アフリカ、アジアなどの予防接種率の低い国では依然として患者数が多い。

○感染経路：

空気感染、飛沫感染、接触感染。

○主な症状：

発熱、咳、鼻水、目の充血・目やになどが2～3日続いた後、39℃以上の高熱と全身に発疹が出る。肺炎、中耳炎、脳炎が起こる場合もある。

○感染予防：

麻しんワクチンの予防接種が有効。日本では1歳になったらすぐに1回目の麻しん風しん混合ワクチンの接種を受け、小学校入学前1年間の間に2回目のワクチンを受ける。2008～2012年度の5年間は、中学1年生と高校3年生相当年齢の人を対象に予防接種を実施している。2011年5月20日から、修学旅行や学校行事としての研修旅行で海外に行くなど、特段の事情がある高校2年生相当年齢の人を対象に定期的予防接種を実施している。

海外では、動物と距離をとろう。

Please Keep Your Distance

※もっと詳しく知りたい方は

FORTH/厚生労働省検疫所「麻しん」

→<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name62.html>

国立感染症研究所感染症情報センター「緊急情報：麻疹が流行しています」

→<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>

国立感染症研究所感染症情報センター感染症発生動向調査週報

「欧州からの輸入と考えられた麻疹症例」→<http://idsc.nih.go.jp/idwr/faq.html#201103>